

# 藤木大地 & 徳永真一郎

## うたとギターのコンサート

THIS IS  
MECENAT  
2020



DAICHI FUJIKI ©hiromasa



SHIN-ICHIRO TOKUNAGA ©Tohru Yuasa

チケット販売開始

1/10 (日) 10:00 ~

※完売の場合は当日券の販売は  
ございません。

R. アーン : クロリスに

H. マンシーニ : ムーン・リバー ~映画「ティファニーで朝食を」より  
武満徹 : 死んだ男の残したものは

S. マイヤーズ : にじのこもりうた ~映画「ディア・ハンター」より  
平井夏美 (松本隆 作詞) : 瑠璃色の地球

M. ラヴェル / R. ディアンス編 : 亡き王女のためのパヴァーヌ [ギターソロ]

菅野祐悟 : 幸福の硬貨 [ギターソロ] ほか

※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

日時 2021. 3/6 (土) 14:00 開演 (13:30 開場)

場所 美馬市地域交流センター ミライズ 市民ホール

住所 : 〒779-3602 徳島県美馬市脇町大字猪尻字西分 116-1

料金 一般 : 1,000 円 高校生以下 : 500 円 (全席指定 ※税込)

※未就学児入場不可 ※本コンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により特別料金に設定しています

【お問い合わせ】

美馬市地域交流センター ミライズ  
TEL : 0883-53-1102 (9:00 ~ 20:00)

主催 : 美馬市、あなぶき・TRCグループ  
徳島県、(公財)三井住友海上文化財団  
後援 : 美馬市教育委員会

新型コロナウイルス感染防止対策として手指の消毒、マスク着用、検温をお客様にお願いしております。  
またホール内は客席の適切な間隔、定期的な換気を行っております

三井住友海上文化財団 ときめくひととき 第898回

このコンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により開催しています。





## 藤木 大地 (カウンターテナー) Daichi Fujiki, countertenor



©hiromasa

2017年4月、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場に鮮烈にデビュー。  
アリベルト・ライマンがウィーン国立歌劇場のために作曲し、2010年に世界初演された『メデア』ヘロルド役での殿堂デビューは、東洋人のカウンターテナーとして初めての快挙で、現地メディアから絶賛されるとともに、音楽の都・ウィーンの聴衆から熱狂的に迎えられただけでなく、日本国内でも大きなニュースとなる。  
2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール声楽部門にてカウンターテナーで初の第1位を受賞。  
2013年には、ボローニャ歌劇場にてグルック『クレーリアの勝利』マンニオ役でヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。  
2017年、ファーストアルバム「死んだ男の残したものは」(キングインターナショナル)をリリース。詩人の谷川俊太郎氏より「懐かしいリリシズムの新しい目覚め」と言葉を贈られる。2018年には、村上春樹氏原作の映画「ハナレイ・ベイ」の主題歌を担当、同時にマーティン・カツツ氏共演による待望のメジャー・デビュー・アルバム「愛のよるこびは」(ワーナーミュージック・ジャパン)を発表。  
2020年2月、自身が東京文化会館からオファーを受け企画原案・主演を務めた新作歌劇『400歳のカストラート』が上演以前より多方面から注目を集め、大成功を収めた。同年10月には、新国立劇場2020/2021シーズン開幕公演ブリティッシュ『夏の夜の夢』に妖精の王オーベロン役で主役を務め、その存在感は際立ち、唯一無二の美声で聴衆を魅了した。  
バロックからコンテンポラリーまで幅広いレパートリーで活動を展開する、日本で最も注目される国際的なアーティストのひとりである。  
洗足学園音楽大学客員教授。  
Official Website <https://www.daichifujiki.com>

## 徳永 真一郎 (ギター) Shin-ichiro Tokunaga, guitar



©Tohru Yuasa

徳島県出身のギタリスト。9歳からギターを学び、国内のコンクールで入賞を重ねた後、2007年に渡仏。ストラスブール地方音楽院を経て2011年よりパリ国立高等音楽院にて研鑽を積む。2016年、同音楽院修士課程を満場一致の首席で卒業。  
これまでにギターを川竹道夫、アレクシス・ムズラキス(デュオ・メリス)、ローラン・ディアンヌ、ジュディカエル・ペロワ各氏に、古楽・リュートを今村泰典氏に師事。また、キジアーナ音楽院のオスカー・ギリア氏のクラスにて最優秀ディプロマを取得。  
2008年ナクソス国際ギターコンクール(ギリシャ)第3位、2010年オルシュティン国際ギターコンクール(ポーランド)第1位及びグランプリ。2012年、同フェスティバルにてリサイタル、マスタークラスを行う。2016年ブーローニュ・ピヤンクール現代音楽コンクール《Musique du dernier siècle 2016》にて審査員特別賞(課題曲賞)を受賞。2018年ヴェリア国際ギターコンクールのコンチェルト部門にて第2位入賞。これまでにカレンツァーナ音楽祭(共演:小林真理、メゾソプラノ)や、パリギターフェスティバルなどに招待される。  
2017年、マドリードのソフィア王妃芸術センターにて指揮ジョルディ・フランセスのアンサンブル・ソニド・エクストレモと共演し、作曲家・松宮圭太氏の《ギターとアンサンブルのための小協奏曲》の世界初演のソリストを務める。  
2011年から2013年度までヤマハ留学奨学生、またフランスのタラツィ財団並びにADAMI財団奨学生。  
2018年、アルバム『テリュール』をリリース、文化庁芸術祭優秀賞を受賞。